愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	心理的アセスメント		
担当者(Instructors)	吉村 道孝	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

心理検査は、他者理解のための重要なツールである。本講義では、主に医療現場で用いられる代表的な心理検査を中心に、その理論、技法、解釈、留意点について学習する。また一部の心理検査を実際にグループワークや実習をおこない、検査の実施方法や解釈についての基本を理解することを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式でおこなう。実習可能な心理検査を扱う際には、実際に被検者として受検したり、検査者として解釈をおこなう。そのため遅刻・早退、居眠り、私語は検査の実施に重大な支障が出るので注意が必要である。講義で検査をおこなう際には、前半に検査の説明をおこない、後半を検査実施の時間になる。検査結果や解釈方法、感想などをレポートとして提出し、レポートがない場合は授業終了前に課題の小テストをおこなう。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	心理検査とは	講義の進め方と心理検査の留意点について学習する。	□
第2回	心理アセスメントの諸概念	心理アセスメントの役割や歴史的変遷について学習する。	□
第3回	行動観察	心理アセスメントの基本となる行動の観察について学習する。	□
第4回	アセスメント面接	面接場面で、症状や悩みをどのように評価するかについて学習する。	□
第5回	心理検査の基礎	心理検査を実施する前に知っておくべき留意点や準備について学習する。	□
第6回	質問紙法Ⅰ	質問紙を用いたアセスメント法で、特に感情や気分の評価について学習する。	□
第7回	質問紙法２	質問紙を用いたアセスメント法で、特にパーソナリティの評価について学習する。	□
第8回	作業検査法	内田クレペリン検査を中心に作業検査法について学習する。	□
第9回	知能検査	ウェクスラー式知能検査を中心にに知能検査について学習する。	□
第10回	発達検査	主に子どもの発達について、乳幼児健診等で用いられる検査について学習する。	□
第11回	投影法	投影法の機能と限界について学習する。	□
第12回	検査バッテリー	症状や相手によって、どのような検査の組み合わせが必要かを学習する。	□
第13回	高齢者に対するアセスメント	主に認知症の神経心理検査を中心に学習する。	□
第14回	包括的解釈と報告	検査結果だけでなく、全体的な情報収集と報告書の書き方ににについて学習する。	□
第15回	各分野にとける心理的アセスメントの実際	医療・教育・福祉・産業などそれぞれのアセスメントの特徴について学習する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習：授業開始前に、授業で扱われるテーマに関わる理論・実験・出来事についてインターネット等で調べてくる。（２時間） 事後学習：講義を受けて振り返り、興味のあったポイントをさらに深く学習する。不明な点は次回講義の小レポートに記載すること。（２時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回講義後に小テストもしくは小レポートを実施し理解度を確認する。次回の講義の冒頭で疑問点や課題を共有する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	心理検査に関する基本的な知識を習得し、代表的な心理検査の特徴や実施方法、解釈についての留意点を説明できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回、講義後に小テストもしくは小レポートを実施し、理解度を確認する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内容に応じて資料を配付する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		